

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

学校給食の現状と課題を把握し、その改善充実に資することを目的とする。

## 2 調査の根拠法令

統計法

## 3 調査の対象

学校給食を実施している国公立の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校（前期課程）、特別支援学校及び夜間課程を置く高等学校（以下「夜間定時制高等学校」という。）

## 4 抽出方式

全数調査

## 5 調査事項

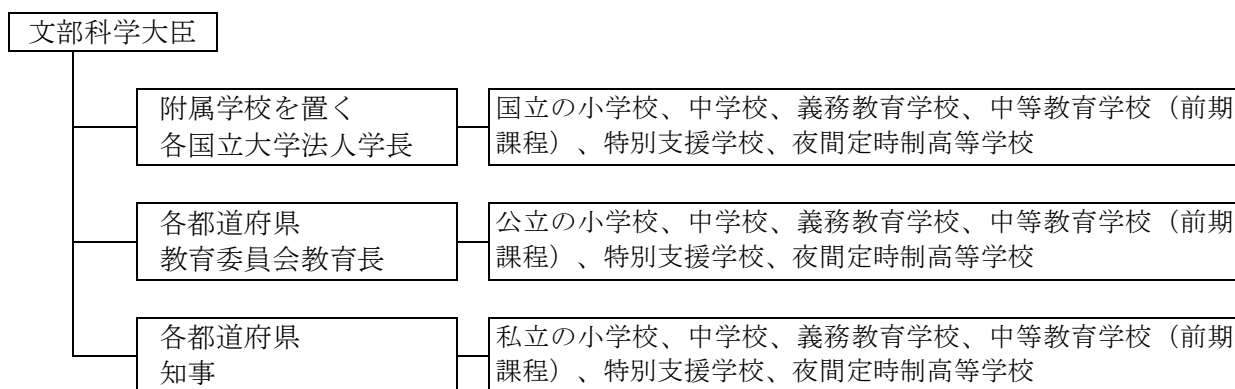
- (1) 学校給食実施率
- (2) 学校給食調理員の配置状況
- (3) 米飯給食実施状況調査

## 6 調査の実施時期

平成30年5月1日現在

## 7 調査の方法

### (1) 調査系統



### (2) 調査票の配布収集方法

オンライン

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 学校給食の実施率

国公立学校において学校給食を実施している学校数は全国で 30,092 校、実施率は 95.2%である。また、完全給食（主食、おかず及びミルクから成る給食）の実施率は 93.5%であり、実施率については、中学校、中等教育学校（前期課程）及び特別支援学校において前回調査（平成 28 年）より増加している。

区分		学校 総数	実施率（学校数比）			
			計	完全給食	補食給食	ミルク給食
小学校	平成 30 年	19,635 校	99.1% (19,453 校)	98.5%	0.3%	0.3%
	平成 28 年	19,675 校	99.2% (19,510 校)	98.6%	0.3%	0.3%
中学校	平成 30 年	10,151 校	89.9% (9,122 校)	86.6%	0.4%	2.9%
	平成 28 年	10,108 校	89.0% (9,000 校)	83.9%	0.4%	4.8%
義務教育学校	平成 30 年	82 校	100.0% (82 校)	100.0%	0.0%	0.0%
	平成 28 年	22 校	100.0% (22 校)	100.0%	0.0%	0.0%
中等教育学校 （前期課程）	平成 30 年	52 校	63.5% (33 校)	53.8%	0.0%	9.6%
	平成 28 年	51 校	62.7% (32 校)	52.9%	0.0%	9.8%
特別支援学校	平成 30 年	1,132 校	89.9% (1,018 校)	88.8%	0.1%	1.1%
	平成 28 年	1,103 校	89.3% (985 校)	88.0%	0.1%	1.2%
夜間定時制 高等学校	平成 30 年	565 校	68.0% (384 校)	52.6%	15.2%	0.2%
	平成 28 年	565 校	72.6% (410 校)	56.3%	16.1%	0.2%
計	平成 30 年	31,617 校	95.2% (30,092 校)	93.5%	0.6%	1.1%
	平成 28 年	31,524 校	95.0% (29,959 校)	92.6%	0.6%	1.8%

※平成 28 年度調査においては、熊本地震の影響を考慮し、熊本県を本調査対象より除いている。以下同様。

### 2 学校給食調理員の配置状況

公立の小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校（前期課程）、特別支援学校、夜間定時制高等学校及び共同調理場における学校給食調理員数は 45,476 人であり、このうち非常勤職員の比率は 44.6%である。

区分	常勤職員		非常勤職員		計（人）
	職員数（人）	比率（%）	職員数（人）	比率（%）	
平成 30 年	25,190	55.4	20,286	44.6	45,476
平成 28 年	26,796	57.6	19,733	42.4	46,529